

平成 26 年度広島県計画に関する 事後評価

令和 5 年 1 2 月
広島県

3-1. 事業の実施状況（医療分） ※継続事業分

平成26年度広島県計画に規定した事業（医療分）について、令和4年度終了時における事業の実施状況を記載。

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設及び設備の整備に関する事業	
事業名	ひろしま医療情報ネットワーク(HM ネット)増強	【総事業費 (計画期間の総額)】 357,039千円
事業の対象となる区域	全区域	
事業の実施主体	広島県医師会	
事業の期間	平成26年4月1日～令和5年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	地域医療構想に基づいた病床機能の分化・連携を進めるとともに、在宅医療への移行を円滑に進める必要がある。 アウトカム指標： R3年度：開示病院 40 機関 ⇒ R4年度：開示病院 52 機関	
事業の内容（当初計画）	HMネット参加医療機関の初期整備費用等を補助する。	
アウトプット指標（当初の目標値）	HMネット参加医療機関数 〔令和4年度〕開示病院 52 機関	
アウトプット指標（達成値）	HMネット参加医療機関数 〔令和4年度〕開示病院 41 機関	
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標： ICTを活用した医療情報ネットワークの構築 (開示病院・参照医療機関数) 観察できなかった 観察できた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報開示施設：40施設(R3)→41施設(R4)：1施設増 ・情報閲覧施設：755施設(R3)→738施設(R4)：17施設減 <p>(1) 事業の有効性 HMネットに参加する際に必要な初期整備と、県医師会の専任スタッフによる初期設定サポートにより、医療機関がシステムを導入しやすい環境を整備し、ICTを活用した医療情報連携ネットワークの構築に効果を上げている。また、電子お薬手帳の機能追加により、薬局を含めた連携が進んでいる。</p> <p>(2) 事業の効率性 運営主体の県医師会と県とが協働してネットワーク構築に取り組み、単純な数の増加だけでなく、地域の面的な連携や自治体の医療介護連携等への活用など、地域モデルの構築とその横展開を進め、効率的な周知・啓発を図っている。</p>	

その他	平成 26 年度	172,498 千円
	平成 27 年度	182,470 千円
	平成 28 年度	0 千円
	平成 29 年度	0 千円
	平成 30 年度	0 千円
	令和元年度	0 千円
	令和 2 年度	0 千円
	令和 3 年度	0 千円
	令和 4 年度	2,071 千円